



平成25年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年10月31日

上場会社名 株式会社 タムロン 上場取引所 東
 コード番号 7740 URL http://www.tamron.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小野 守男
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長 (氏名) 土屋 次男 TEL 048 (684) 9111
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第3四半期の連結業績（平成25年1月1日～平成25年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第3四半期	48,632	4.7	3,870	△9.4	3,816	△10.5	2,512	△19.3
24年12月期第3四半期	46,451	6.2	4,269	△11.9	4,262	△11.9	3,111	1.3

(注) 包括利益 25年12月期第3四半期 4,995百万円 (63.9%) 24年12月期第3四半期 3,048百万円 (14.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第3四半期	91.53	—
24年12月期第3四半期	113.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第3四半期	62,003	44,429	71.7
24年12月期	58,058	40,805	70.3

(参考) 自己資本 25年12月期第3四半期 44,429百万円 24年12月期 40,805百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	20.00	—	30.00	50.00
25年12月期	—	20.00	—		
25年12月期（予想）				30.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年12月期の連結業績予想（平成25年1月1日～平成25年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	69,000	7.2	5,600	1.8	5,500	2.3	3,900	0.2	142.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年12月期3Q	27,500,000株	24年12月期	27,500,000株
② 期末自己株式数	25年12月期3Q	49,364株	24年12月期	49,307株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年12月期3Q	27,450,670株	24年12月期3Q	27,450,709株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化により、予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項については、【添付資料】P. 3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成25年1月1日～平成25年9月30日)における世界経済を概観しますと、米国では、実体経済が緩やかな回復を続けましたが、財政問題の混迷による景気の先行き不透明感が高まり、欧州経済は持ち直しつつも、失業率は依然高止まりの状況となりました。新興国経済も全般的に低迷が継続し、中国経済は足元では持ち直しているものの、輸出や個人消費の回復力は弱く、力強さを欠く状況です。

一方わが国経済は、緩やかな回復基調が持続しましたが、輸出や個人消費の伸びが鈍る等、景気回復のペースに一服感がみられました。

当社グループ関連市場であるデジタルカメラ市場は、レンズ一体型タイプの出荷台数は前年同期に比べ約4割減となり、レンズ交換式タイプも前年同期に比べ約2割減、交換レンズ市場でも前年同期に比べ約1割減と厳しい状況となりました。

このような状況の下、当社グループの当第3四半期連結累計期間における売上高は、特機関連事業の売上が好調に推移したことや円安の影響もあり、486億32百万円(前年同期比4.7%増)となりました。一方、利益面につきましては、販売数量の減少や営業費用の増加などの影響により、営業利益38億70百万円(前年同期比9.4%減)、経常利益38億16百万円(前年同期比10.5%減)、四半期純利益25億12百万円(前年同期比19.3%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(写真関連事業)

写真関連事業は、SP70-200mm F/2.8 VC USD (A009)が『EISAアワード/ヨーロッパ・ズームレンズ 2013-2014』を、SP90mm F/2.8 MACRO 1:1 VC USD (F004)は『EISAアワード/ヨーロッパ・レンズ 2013-2014』を2機種同時に受賞するという快挙を果たしました。これにより当社レンズのEISAアワード受賞は8年連続となりました。上記製品の他、主力機種である18-270mm VC PZD (B008)に代表される高倍率ズームを中心に販売に注力いたしましたが、欧州や中国市場での需要低迷の影響で売上高が伸び悩み、一部製品の値下げを余儀なくされたことから減益となりました。

このような結果、写真関連事業の売上高は342億86百万円(前年同期比2.1%増)となり、営業利益は32億8百万円(前年同期比25.1%減)となりました。

(レンズ関連事業)

レンズ関連事業は、コンパクトデジタルカメラや、デジタルビデオカメラ市場は、スマートフォンの普及拡大などにより大幅な縮小が続いている状況下、売上高は減少となりましたが、利益につきましては開発費の回収などもあり増加となりました。

このような結果、レンズ関連事業の売上高は56億72百万円(前年同期比9.9%減)、営業利益は7億96百万円(前年同期比63.1%増)となりました。

(特機関連事業)

特機関連事業は、監視カメラの高画質化ニーズが高まるなか、一体型監視カメラ市場の拡大により、ビルトイン(一体型カメラ用)レンズの販売が好調に推移したことで、売上高、営業利益ともに第3四半期累計期間としては過去最高となりました。

このような結果、特機関連事業の売上高は86億73百万円(前年同期比31.9%増)、営業利益は16億19百万円(前年同期比34.5%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は620億3百万円となり、前連結会計年度末に比べ39億45百万円増加いたしました。うち、流動資産が2億38百万円増加し、404億50百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が22億円減少した一方、現金預金が22億42百万円増加したことによるものであります。固定資産は37億6百万円増加し215億53百万円となりました。これは主に有形固定資産が34億51百万円増加したことによるものであります。

また負債は175億74百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億21百万円増加いたしました。うち、流動負債が7億26百万円減少し、135億35百万円となりました。これは主に、買掛金が2億45百万円減少したことによるものであります。固定負債は、10億48百万円増加し、40億39百万円となりました。これは主に、長期借入金が8億58百万円増加したことによるものであります。

純資産は、主に為替換算調整勘定の残高が14億49百万円となったことにより、前連結会計年度末に比べ36億23百万円増加し、444億29百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、引き続きデジタルカメラ市場の先行きが不透明なことや、写真関連事業において、直近の開発進捗や市場状況を考慮した結果、当初第4四半期に予定していた新製品の投入を来期に延期することなどから、平成25年7月31日発表の通期業績予想を以下の通り修正いたします。

平成25年12月期通期の連結業績予想の修正(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(単位:百万円)

	前回発表予想 (A)	今回修正予想 (B)	増減額 (B - A)	前期実績 (C)	増減率(%) (B - C)/C
売上高	73,000	69,000	△4,000	64,353	7.2%
営業利益	6,300	5,600	△700	5,503	1.8%
経常利益	6,100	5,500	△600	5,377	2.3%
当期純利益	4,000	3,900	△100	3,894	0.2%

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

一部の海外連結子会社において、税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。なお、この変更による連結財務諸表への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,822	13,065
受取手形及び売掛金	15,509	13,309
製品	8,144	7,568
仕掛品	2,842	3,547
原材料及び貯蔵品	1,376	1,487
繰延税金資産	668	512
その他	899	1,015
貸倒引当金	△52	△54
流動資産合計	40,211	40,450
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,505	10,283
減価償却累計額	△5,053	△5,453
建物及び構築物(純額)	3,452	4,830
機械装置及び運搬具	15,808	18,393
減価償却累計額	△9,813	△11,290
機械装置及び運搬具(純額)	5,994	7,103
工具、器具及び備品	16,253	16,726
減価償却累計額	△13,846	△14,341
工具、器具及び備品(純額)	2,407	2,385
その他	2,558	3,546
有形固定資産合計	14,413	17,865
無形固定資産	721	709
投資その他の資産		
投資有価証券	1,649	1,910
繰延税金資産	529	520
その他	626	652
貸倒引当金	△93	△104
投資その他の資産合計	2,712	2,978
固定資産合計	17,846	21,553
資産合計	58,058	62,003

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,410	5,165
短期借入金	3,928	3,865
未払法人税等	699	468
その他	4,223	4,036
流動負債合計	14,262	13,535
固定負債		
長期借入金	1,547	2,405
退職給付引当金	1,154	1,340
その他	288	292
固定負債合計	2,990	4,039
負債合計	17,252	17,574
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,923	6,923
資本剰余金	7,432	7,432
利益剰余金	27,310	28,450
自己株式	△81	△81
株主資本合計	41,584	42,724
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	94	255
為替換算調整勘定	△873	1,449
その他の包括利益累計額合計	△778	1,704
純資産合計	40,805	44,429
負債純資産合計	58,058	62,003

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
売上高	46,451	48,632
売上原価	31,596	33,334
売上総利益	14,855	15,298
販売費及び一般管理費	10,585	11,427
営業利益	4,269	3,870
営業外収益		
受取利息	19	14
その他	125	130
営業外収益合計	144	144
営業外費用		
支払利息	92	68
為替差損	30	90
その他	28	39
営業外費用合計	151	198
経常利益	4,262	3,816
税金等調整前四半期純利益	4,262	3,816
法人税等	1,150	1,303
少数株主損益調整前四半期純利益	3,111	2,512
四半期純利益	3,111	2,512

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,111	2,512
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9	160
為替換算調整勘定	△73	2,322
その他の包括利益合計	△63	2,483
四半期包括利益	3,048	4,995
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,048	4,995

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 2	合計
	写真関連事業	レンズ関連 事業	特機関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	33,579	6,295	6,577	46,451	—	46,451
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	33,579	6,295	6,577	46,451	—	46,451
セグメント利益	4,283	488	1,204	5,976	△1,706	4,269

(注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. セグメント利益の調整額△1,706百万円は、当社の総務、経理等の本社部門に係わる配賦不能営業費用等であります。

当第3四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 2	合計
	写真関連事業	レンズ関連 事業	特機関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	34,286	5,672	8,673	48,632	—	48,632
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	34,286	5,672	8,673	48,632	—	48,632
セグメント利益	3,208	796	1,619	5,625	△1,754	3,870

(注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. セグメント利益の調整額△1,754百万円は、当社の総務、経理等の本社部門に係わる配賦不能営業費用等であります。